Copyright 2011 butler-m.co.jp All Rights Reserved.

難易度Ｂ

平成 23 年 5 月実施過去問（学科）

１．ライフプランニングと資金計画

平成23年5月学科　問題35

厚生年金保険の被保険者期間を20年以上有する者が老齢厚生年金の受給権を取得したとき，その者によって生計を維持していた一定の要件を満たす配偶者または子がいる場合には，老齢厚生年金の額に（　　）が加算される。

1）加給年金額　　2）振替加算の額　　3）経過的加算額

解答：1

解説

加給年金は、家族手当としての性格を有しており、厚生年金保険の被保険者期間 20 年以上、60 歳未満の配偶者などがいる者に対して支給されます。

『FP 技能士３級 合格教本』55 ページ（４）参照

２．リスク管理

平成23年5月学科　問題39

普通傷害保険では，（　　）により通院した場合，保険金支払の対象とならない。

1）細菌性食中毒　　2）料理中のやけど　　3）スポーツ中のケガ

解答：1

解説

傷害保険において、細菌性食物中毒は対象外となっています。ただし、国内旅行傷害保険、海外旅行傷害保険では、特約なしで細菌性食物中毒も補償されます。

『FP技能士３級 合格教本』127ページ「主な傷害保険」表参照

Copyright 2011 butler-m.co.jp All Rights Reserved.

３．金融資産運用

平成23年5月学科　問題43

> 投資信託の運用手法のうち，（ ① ）運用は，特定の指標を上回るリターンを目指す手法をいい，（ ② ）運用は，特定の指標に連動するように運用する手法をいう。
> 1）① アクティブ　② パッシブ
> 2）① ボトムアップ　② ベンチマーク
> 3）① ボトムアップ　② トップダウン

解答：１

解説

① アクティブ運用は、ベンチマーク（市場平均）を上回る収益を目指す手法のこと。

② パッシブ運用は、ベンチマーク（市場平均）への連動性を目指す手法のこと。

『FP技能士３級 合格教本』163ページ「投資信託の運用スタイル」表参照

４．タックスプランニング

平成23年5月学科　問題47

> 内国法人から支払を受けた剰余金の分配に係る配当所得の金額が100万円で，課税総所得金額が600万円である居住者の所得税における配当控除の金額を計算すると，（　　）である。
> 1）100万円×３％＝３万円
> 2）100万円×５％＝５万円
> 3）100万円×10％＝10万円

解答：３

解説

『FP技能士３級 合格教本』236ページ「2　配当所得」(2)参照

５．不動産

平成23年5月学科　問題53

借地借家法で規定される定期借地権等のうち，（　　）の設定を目的とする契約は，公正証書によって締結しなければならない。 1）一般定期借地権　　2）事業用定期借地権　　3）建物譲渡特約付借地権

解答：２

解説

定期借地権等のうち，公正証書によって契約が必要なのは、事業用定期借地権だけです。一般定期借地権は、公正証書である必要はありませんが、書面で契約します。

『FP技能士３級 合格教本』259ページ「定期借地権の種類」表参照

６．相続・事業承継

平成23年5月学科　問題57

相続または遺贈によって財産を取得した者が，相続開始前３年以内に被相続人から贈与を受けた財産は，原則として，相続税の課税価格に加算されるが，その価額は（　　）で評価される。 1）被相続人が取得したときの価額 2）相続開始時の価額 3）贈与により取得したときの価額

解答：３

解説

いわゆる「生前贈与加算についての問題です。相続税の課税価格に加算するときの価額は、贈与時点の価額となります。

『FP技能士３級 合格教本』324ページ（４）参照